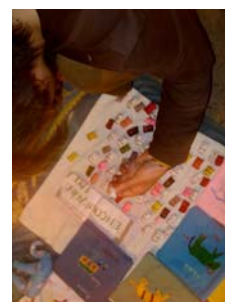


メインストリートの延長0. 7時ほどのところに、びっしりと夜店が立つ。外個人ツーリストで賑わう。歴史遺産都市として世界中からのツーリストが訪れている。この地より北部方面へは急激に訪問者が減少する。このメインストリートと交差する露地には食べ物や雑貨を売る屋台が立て込んでいる。



あらゆるものが売られている。手の込んだ絹織物の刺繍などで加工したものなどに外個人の人気が集まっている。ゼザインもモダンな要素を取り入れ、外国人好みに仕立てられているものあり、なかなかの知恵者がいるようだ。よく見るとアンティークな物に掘り出し物がありそうだ。得たいの知れないものもあり、興味が尽きない。Dragの流通に使われたと思える小型の携帯用竿はかり。古代の貨幣と称するもの。石器時代の石斧と称するもの。手作りの素朴な玩具。など・・・など

ミャンマーから来たものだというキセルを購入。お土産の調達によさそうだ。



夜のマーケットの通りから少し入ると、気の利いた店がある。仏画をモチーフにした掛物を購入。

このモチーフはオリジナルなものでは無いらしく。あちこちで見ることになる。

オーストラリア人写真家が撮ったと言う絵葉書、印画紙でプリントしたもの。質の良い写真。を3枚購入。